

『東北復興宇宙ミッション2021』

東日本大震災から復興10年となる令和3年3月11日、国際宇宙ステーション(I SS)から世界に向けて復興支援の感謝の気持ちを発信する計画で、2021年6月4 日(日本時間)にNASAケネディ宇宙センターからファルコン9ロケット&ドラゴン補給 船に乗って宇宙に旅立ち、国際宇宙ステーション『きぼう』に1ヶ月間保管され、2 021年7月10日(日本時間)に地上に帰還した白菜の種です。

その種を、浦戸諸島・寒風沢島の

『寒風沢コミュニティー農園』に定植し育てました。





丁. 種植え(令和3年8月17日)&経過観察



育苗箱に培養土を詰めて、割り箸を使って種を植える穴を あけていき、産業環境部職員の皆さんの手で一つ一つ丁寧 に種を植えていきます。



3日後には、こんなにか わいい芽が出てきました。



















〈壱番館屋上にて〉

一.コミュニティー農園に定植(令和3年9月13日)

塩竈市農業委員会の皆さんと畑を耕し、壱番館 屋上で育てた小さな苗を植えました。













中. 生育状況

2~3週間で、こんなに大きく育ちました。 白菜の成長は早い!







1ヵ月も過ぎて、収穫間近です。 緑がとっても綺麗ですね(*^-^*)







一. 収穫(令和3年11月19日)

塩竈市農業委員の皆さんと白菜の収穫作業をしました。予想以上に大きく育って ビックリ!















一. 宇宙白菜定植式(令和3年10月30日)

9月に植えた白菜とは別に、種を取るための宇宙白菜を市民の皆さんと定植しました。



















・収穫した宇宙白菜は、令和3年11月20日・21日に仲卸市場で行われた『市場 deマルシェ』で販売させていただきました。宇宙白菜の他にも枝豆やニンニク、宇宙白菜収穫後にはキャベツを植えて畑の状態を保っています。

種取用の宇宙白菜は、令和4年の春に種を採取し、次の世代に受け継がれます。水産振興課では、この先も寒風沢コミュニティー農園でこのプロジェクトを続けていきます。















